普及した簡易救命具

災害救助対策も万全

昨年夏。南国署刑事課の西岡寛馬氏が、旧海軍時代使つたことを思い出し、水難救助のためひろうした救命竹ザオは非常に便利とあつて、ことしは各方面に普及した。

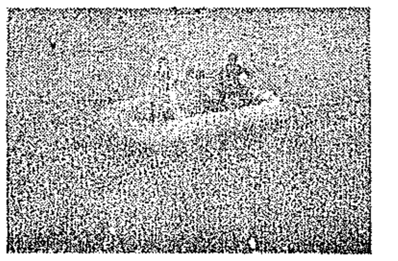
サオの長さは二メートル半くらい。この先に長さ三十センチくらいの網をつけ、手でその棒（長さ三十センチ前後）を結びつける。イザというときにはこのサオをおぼれているものに差し出せばよいわけで、沈みかけたものに対しては水中に突つ込んで、つかまりやすいようにしてやる。

また岸から離れていた場合は、おぼれているものを目がけて竹ザオを投げてつかまらせ、それから飛び込んで竹ザオを立てるようにし少しでも早く頭を水中から出してやるようにすればよい。

ことしもまだ水泳は続いている。

この費用のかからぬ救命具を準備して泳ぎたいもの。

市内古市地区は国分川増水の場合水害を受けるおそれがあるため、南国署では毎年ここを中心に万一に備え訓練を行なつている。本年もすでに実施して体勢を強化した。



（写真上は国府川における簡易救命具のテスト。下は南国署の災害訓練に繰り出した救命ゴムボート）

教育の発展と充実はかる

本年度から設立された南国市教育研究所（市教委事務局内）は、教職員の教育実践推進上、直接必要な諸問題を研究するとともに、研修を積極的助成し教育の発展と充実をはかることをあげている。以下はその事業内容である。

〔教育研究関係〕

▽教育の原理、思潮、制度の研究▽教育計画の調査研究▽教育内容および方法の研究▽教科書、教具などの調査研究

〔研究助成関係〕

▽教育職員の研究助成▽教育に必要な資料の収集

なお本年度は市内小、中学校教諭十人により次のことが研究されている。

○読解力を高めるにはどうすればよいか
○改訂教育過程に如何に視聴覚教育を導入するか
○小、中学校におけるデザイン版画の実際
○中学校における技術教育について
○小、中学校一貫した音楽教育について
○中学校における英語教育法の研究
○理科教材の共同研究を効果的に推進する方法
○社会科教科書の研究
○視聴覚教材の効果的利用について
○保健体育科の児童生徒の評価はいかにすべきか

〔年度内事業計画〕

出版事業＝月刊研究所報、市教育要覧、研究員研究報告書

調査研究＝各学校教育計画の調査と研究、通知票形式の調査と研究、理科準備品の調査と研究、職家施設設備の調査と研究、図工教育施設設備の調査と研究、学習帳等の使用状況調査、学校経営調査

研究会開催＝教科別研究会、教育課程研究会、校長教頭研修会、PTA教育講演会

ほかに学校訪問と指導授業研究資料の収集。

〔予算＝単位千円〕

各種教育研究団体、研究助成金三二、研究員研究依託費二四、指導研究費一五、印刷費一七、調査費二、研究資料費七、雑費三、計一〇〇

力率とはどんなものか

電気でモーターを廻す場合電気の全てが仕事をするというのではなく、その中には、必ず何割かの働かない電気が含まれています。そのために、電気の全てが、仕事をしないで、そのうちの70%とか80%しか仕事をしません。この実際に仂く電気の割合を力率といいます。

では、何故働かない電気が出来て来るかをもう少し詳しくかいてみましよう。

私達が日常使つている電気は、交流といつて、常に一定時間をおいて変化する電圧と電流の波から出来ていて、しかも電圧の波と電流の波は、別々に変化しています。四国地方では1秒間に60回変化するから、之を60サイクルといいます。従つて、電圧の波が最大の時に電流の波が最大であれば電気は一番能率よく仂くわけですが、電圧の波が半分の大きさの時に電流の波が最大であつたり、半分であつたり、又電圧の波と電流の波が、逆の場合もあるわけです。

之を身近く考えるために、商店とお客にたとえてみましよう。

お客が来る時間と、商店を開く時間とが、一致するかずれるかによつて、商店の繁昌の具合が違つてくることはわかりましよう。電圧を商店、電流をお客とすると、商店が閉つている時（電圧零）お客が買物に来ず（電流、零）店が開いている時（電圧最大）お客が買物に来る（電流最大）ならば、商売は一番能率よく成立ちます。所が、反対に、店が開いている時（電圧最大）、お客が来ず（電流、零）店が閉つている時（電圧、零）お客が来れば（電流最大）商売は、全然成立たないわけです。

交流とは、商店が店を開けたり、閉めたり、或はお客が店へ来たり、帰つたりするようなもので、商店とお客の行動がうまい具合に合うか、喰い違うかによつて一〇〇%商売になるか、80%か、或は、全然商売にならないか（0%）が、決まります。

この場合の商売が電気の仕事になるわけで、電圧の波と電流の波が、どの位一致するかによつて、電気の仕事の出来具合が決まります。

この商売の繁昌具合、即ち仕事の出来具合が力率にあたるわけです。

進相用蓄電器はどんな働きをするか

電圧と電流の間には、前にかきました様な関係がありますので、少しの無駄もない電力として、使用するためには、電圧と電流とが、うまく一致せねばならぬことが、おわかりと思います。

この電圧と電流とをうまく一致させるような仂きをするものが、進相用蓄電器です。

それはどんな効果があるか

電力が充分に活用される。

電動機や、電気熔接機は、その特性上実際に仂かぬ電流（即ち、無効電流）が相当に流れます。進相用蓄電器を取付けますと、無効電流をなくして、全電力が有効に仂きます。

電圧が昇り、回転力が増える。

電動機の回転力は、電圧の自乗に比例し、僅かな電圧降下も、その影響は大きなものであります　進相用蓄電器を取付けますと、電動機の回転力が著しく増大し今迄起動困難であつた電動機も起動がよくなり、能率もよくなります。

電気設備に余裕が出来、寿命が延びる

力率の向上により、実際上仂かぬ電流が減りますからそれだけ電力設備に余裕が出来、又機器の温度上昇も少なくなつて寿命が延びることになります。

製品の質と作業能率が向上

進相用蓄電器を取付けますと、電圧の変化が少くなりますから、負荷による速度の変化が減り、仕上がつた製品の質が揃つてよくなり作業能率も向上することになります。

広報ではさきに紙面を充実するため、通信員二十人を委嘱しましたが、早くも前号で黒潮の佐竹安意さん、前浜の浜田春水久礼田の浜田広信両氏からそれぞれ通信を受けました。

これは紙面に向くように改めて、前号に掲載いたしました。〝みんなの機関紙〟とするために、より以上のご協力をおねがいします。

なお広報委員とはいうものの、専任でないため、りつぱなものを仕上げることができてないので、委員一同、努力を期しております。

太陽とともに起きよう

あちこち

このほど広報委の藤本氏が上京して中古乗用車を購入、とって間のない免許証をふりかざし、地図も持たずに東海道下り。どうにか？帰県したが、その車の外側に書かれた大型文字は〝黄金花〟……といっても推理小説や映画の題名ではなく、同氏専有の〝花〟の名称でPRにこれつとめているわけ。

※

高知県何々連合会といえばきまつたように県の中心地、高知市に所在するが、南国市にもその〝連合会〟があるのを知る人は少なかろう。日章農協組合長の池川氏を会長とする「高知県厚生農協連合会」がそれ。場所は香長病院構内で、元高知営林局の結核療養所を使つて〝厚生〟につとめているわけ。

※

文書でていねいなのは、学校からくる連絡文書だとの定評がある。たとえば「御多忙の折柄まことに恐縮とは存じ上げますが御父兄様方に御願い申し上げる次第でございます」とまことに、頭のさがる思いがする。

またつい最近、市内某高生委員会の連絡文書には「深き御理解のおかげ様をもちまして……御多忙中恐れるりますがどうか御繰合せ下さいまして御協力下さる様伏して御願い申上げます」と、実にていねいなものだと思うことがあつた。

※

ある観光客の一人が、国鉄後免駅から電車通りに出る国道は夜、さびしいほどくらすぎると。全くその通り。この通りは南国市のメインストリートだが、星があざやかにみえるほどのくらさ。市商工会や市当局に少し対策を考えてもらいたい。防犯上からもぜひ明るくしてもらいたいものだという声が多い。

※

市では赤字財政再建策の一つとして市立保育所の私立化を計画。これは取り止めになつたといわれるが、これに対し父兄たちは「維持費が高くなつて、とても子供たちを入れにくくなる」と心配し、いつまでも市立を存続してほしいと望んでいる。

※

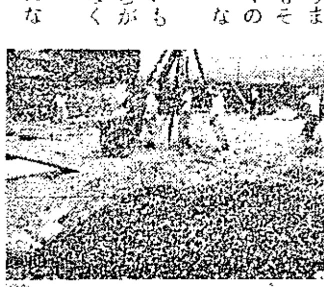
立田の、四国電力営業所では〝防犯灯をつけよう〟と呼びかけている。防犯灯をつけるというまでもなく遠くからでもその付近の見通しがきくので、交通事故が少くなる。どろぼうや、あやしいものは暗いところを好むが明るくなれば近寄らなくなる。なお費用は次のようになつている。「電力会社の電柱に引き下げる場合平均一灯に八百円かかるが会社が二百円負担してくれるから六百円となる。▽電灯料は四灯ごとに割引かれ、月額一灯百十六円。

※

台風後市販野菜は高くなつているが、生産過剰のときでもいつこう、安くないのが市中心部消費地の現象だ。たとえば、ささげ、[illegible]が生産過剰で[illegible]の三和などでは捨てあまし、田へスキ込んだり川へ流していたのに、後免町では百三十円くらいの高値。だのに、生産者のフトコロにも多くは入つていない。とすると、中間の搾取人や小売りがもうけているのではなかろうか。関係者に考えてもらいたい——という声がある。

※

後免野田小学校下では、よい子たちが待望していたプールをまたたくまに仕上げ、この夏は楽しい水泳ができた。工費は百七十万円だつたが、余分ができたほどの集まりよう。大きさは二十五メートル、十一六ス。写真（左）上はプール建設前の校庭、東開の敷地で資材が集積されている。そこに下のようにりつぱなプールが完成した。全く、夢のよう。



※

日章田村の日蓮宗蔵福寺ではさきに寺を守護する牛頭天王と弁才天女の像を新作、安置した。像はいずれも高さ二メートルを越し、トチの巨木に刻まれているが、作者は浜改田の宮大工、浜田実氏。戦傷で右足をなくしている同氏にとつては苦心の作で、それだけに迫力もみられる。開眼供養の日はあいにく雨となつたが、善男善女が詰めかけ、稚児姿の少年少女たちは稚子姿になつて作者のもとから寺まで像を引いた。（写真は当日山門前に到着した両像）

※

後免町婦人会は八月下旬二日間にわたり物部川原で親子キャンプを開いて楽しんだ。市内では初めてのこころみで、約二十組が参加した。

※

中華民国台湾の中小企業代表で組織された研修団一行九人はさる二、三両日協和農機と鈴江農機で管理などをまなんで帰県した。